



いばらき県議会だより

No.181

茨城県議会 検索 <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議及び予算特別委員会を生中継及び録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



茨城の秋

花貫溪谷(高萩市)「紅葉まつり」:平成24年10月27日(土)~11月25日(日)

高萩市西南部を流れる花貫川が山の地表を浸食して作り出した溪谷は、表情豊かな滝や淵などが点在しています。朱色に染まる木々と清流が織り成す美しい風景に、毎年たくさんの観光客が訪れます。



筑波山(つくば市)

「筑波山もみじまつり」:平成24年11月1日(木)~12月2日(日)

「西の富士、東の筑波」と愛称される筑波山。山頂より徐々に色づきはじめ、11月上旬から中旬にかけて見頃を迎えます。ロープウェイの夜間運行「スターダスト・クルージング」では、すばらしい夜景と星空の大パノラマを鑑賞できます。



竜神大吊橋(常陸太田市)

「竜神峡 紅葉まつり」:平成24年11月1日(木)~11月30日(金)

常陸太田市の山並みが色とりどりの紅葉をむかえると、断崖絶壁で奇岩が多く、滝・淵・瀨など変化に富んだ竜神渓谷や竜神大吊橋もひとときわ輝きを増します。期間中には、日本一と評判の常陸秋そばの新そばが食べられます。

いばらきの観光情報は「観光いばらき」ホームページでご覧いただけます。<http://www.ibarakiguide.jp/>

今定例会の概要

平成二十四年第三回定例会は、九月七日から九月二十八日まで二十二日間の会期で開かれました。

議案は、議員から茨城県水源地域保全条例、茨城の子どもたちを放射能から守るために原発事故子ども・被災者支援法に基づく適切な対応を求める意見書など、知事から平成二十四年度茨城県一般会計補正予算、いばらき量子ビーム研究センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例などが提出されました。

代表質問は、地方分権による豊かさの実現、森林湖沼環境税の導入成果と今後の取り組み、ラムサール条約登録と湿地の保全、防災における男女共同参画の推進などについて質問しました。(一・二・三画)

一般質問は、鹿行南部地域の救急医療の充実、竜巻被害を受けた地元商店街への支援、運転免許証更新に係る高齢者講習、県内市町村の今後のあり方などについて質問しました。(四~六画)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、森林湖沼環境税活用事業の効果検証、農商工連携の取り組み状況、安定ヨウ素剤の配備の考え方、米の放射性物質検査結果の公表時期、水戸北スマートICのフルインター化、通学路の危険箇所パトロールなどを議論しました。(七画)

予算特別委員会は、脱法ハープの現状と県の取り組み、中丸川の治水対策、いじめ禁止条例の制定、観光振興、イノシシの被害対策などの質疑を行いました。(八画)

東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会では、企業誘致や中小企業の成長分野進出の推進方策などについて議論しました。(三二画)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願などの三十五件の議案が可決、同意、承認、採択されました。

